

校舎等の耐震化率（本法人が設置する大学に係る耐震化率）

令和8年4月1日現在

学内での 建物名称	構造	階数	延べ床面積	新築年月日			※耐震化率a の延床面積 (合計：㎡)	※耐震化率b の延床面積 (合計：㎡)	摘要
				年（西暦）	月	日			
1号館	鉄骨	6	4,735.25 ㎡	H19(2007)	2	19	4,735.25 ㎡	—	①新築
			3,822.74 ㎡	H21(2009)	7	3	3,822.74 ㎡	—	②増築
			8,657.55 ㎡	R5(2023)	3	28	8,657.55 ㎡	—	③合併登記
2号館	鉄骨	10	10,757.23 ㎡	R4(2022)	1	11	10,757.23 ㎡	—	
体育館	鉄筋	2	1,308.68 ㎡	R4(2022)	1	31	1,308.68 ㎡	—	
学生寮	鉄筋	4	1,950.00 ㎡	H2(1990)	3	24	1,950.00 ㎡	—	
合計			31,231.45 ㎡				31,231.45 ㎡	—	

※耐震化率a：新築年月日が1981年（昭和56年）6月1日以降の建物

※耐震化率b：新築年月日が1981年（昭和56年）6月1日以前の建物のうち、耐震診断を実施済で、耐震性能を有しているあるいは耐震補強済の建物

耐震化率は、文部科学省の「私立学校校舎等実態調査」に基づき、耐震化率a+bの面積÷延床面積合計で求められる。

本法人が設置する大学については、全て1981年以降の建物のため、耐震化率は100%となる。